

2008年7月23日

会 員 各位
関係者 各位

食農資源経済学会
会長 岩元 泉

2008年度 食農資源経済学会 第2回大会のご案内

時下、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、2008年度食農資源経済学会第2回大会を下記の通り開催いたします。
多数ご参加いただけますようご案内申し上げます。

記

【1】日 程

9月26日[金]	◇地域シンポジウム	13:30~17:00
	◇理事会	17:30~19:30
9月27日[土]	◇報告討論会	9:00~17:00
	◇総 会	13:00~13:30
	◇懇親会	18:00~20:00
9月28日[日]	◇研究報告会	9:00~16:00
	◇地区幹事会	12:00~13:00

- 【2】会 場：南九州大学・宮崎キャンパス
〒880-0032 宮崎市霧島5丁目1-2 TEL. 0985-83-2111
南九州大学 <http://www.nankyudai.ac.jp/index.php>

注：懇親会のみ、ホテルメリージュ（宮崎市街）にて行います。

- 9月26日[金]
◇地域シンポジウム…………… 南九州大学・宮崎キャンパス
本館2F・大講義室（1217, 1218室）
◇理事会…………… 本館2F・会議室（1210室）
- 9月27日[土]
◇報告討論会…………… 本館2F・大講義室（1217, 1218室）
◇総 会…………… 〃
◇懇親会…………… ホテルメリージュ（宮崎市橋通東3-1-11）
- 9月28日[日]
◇研究報告会…………… 本館3F・中講義室（1308, 1309室）
◇地区幹事会…………… 本館2F・会議室（1210室）

【3】食農資源経済学会第2回大会 地域シンポジウム

共通テーマ：『地域資源活用による農業・農村振興の取り組み』

座長：山本直之（宮崎大学農学部）

第1報告：「地域資源を活かした山村振興」

黒木定蔵（宮崎県西米良村・村長）

第2報告：「集落農業の維持・発展をかけた法人化」

中之丸新郎（農事組合法人きらり農場高木・代表理事組合長）

第3報告：「生産者と消費者の交流による地産地消の取り組み」

坂元順子（高崎町農産加工センター事業協同組合・理事長）

岩下待子（都城市高崎総合支所産業振興課）

第4報告：「取材現場にみる宮崎県農業・農村の可能性」

草野拓郎（宮崎日日新聞社報道部）

【4】食農資源経済学会第2回大会 報告討論会

共通テーマ：『農業資源の保全と活用ー持続可能な農業・農村の再構成ー』

座長：戸島信一（宮崎大学教育文化学部）

第1報告：「共生農業システム成立の条件」

矢口芳生（東京農工大学大学院）

第2報告：「農業・農村の担い手育成・確保の現状と課題」

堀田九三男（宮崎県農政水産部地域農業推進課）

第3報告：「宮崎県における農村女性の現状と取り組み事例について」

青山恵子（宮崎県農政水産部営農支援課）

第4報告：「日本人の自然観と農業観を問う」

宇根 豊（農と自然の研究所）

コメンテーター：笹倉修司（九州沖縄農業研究センター）

山口和宏（佐賀大学）

後藤厚子（南九州大学）

矢部光保（九州大学大学院農学研究院）

【5】研究報告の申込み

研究報告の希望者は、8月22日〔金〕まで必着にて、報告要旨（4ページ「研究報告要旨作成要領」参照）のデータファイル（Microsoft Wordもしくは一太郎）を電子メールに添付し、メールのタイトルを「研究報告申し込み」として下記の学会事務局宛に送信してください。

報告時間は15～20分の予定です。報告順、時間等については追って連絡いたします。多数の応募をお待ちしています。

研究報告要旨送付先：

食農資源経済学会事務局 佐藤剛史

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1

九州大学大学院農学研究院内

TEL：092-642-2961

E-Mail：ksae@mtf.biglobe.ne.jp

【6】費用等

- ①大会資料代（大会参加費）： 1,000円
- ②懇親会費： 4,000円（学生 3,000円）
- ③会場には駐車場がありますので、車での来場が可能です。

【7】大会参加方法

同封のハガキにて、地域シンポジウム、報告討論会、研究報告会、27日と28日の昼食、懇親会への参加予定をお知らせください。

【8】宿泊先

ホテル等宿泊先は各自での予約をお願いします。

【大会についてのお問い合わせ先】

大会についてのお問い合わせは、現地実行委員会（山本）までお願いいたします。また、非会員の方々の参加申込みにつきましても下記までお願いします。

大会実行委員長：戸島信一（宮崎大学教育文化学部）

TEL&FAX：0985-58-7481

E-Mail：stoshima@cc.miyazaki-u.ac.jp

お問い合わせ先：山本直之（宮崎大学農学部）

TEL&FAX：0985-58-7173

E-Mail：nyamamoto@cc.miyazaki-u.ac.jp

〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1（戸島、山本とも）

【大会会場（南九州大学・宮崎キャンパス）と懇親会場（ホテルメリージュ）の位置】

※南九州大学・宮崎キャンパスへの具体的な行き方は、別紙をご参照ください。



研究報告要旨作成要領

1. 書式

- 1) A4判横書き。横 35 文字×縦 32 行以内（800 字程度）とする。
- 2) 見本にあるように上下、左右にそれぞれ必要な余白を取る。

2. 構成

1) 1 枚目の用紙

- 第 1 行 題目<行の中央に置く＝センタリング>
 第 2 行 空白<但し、副題がある場合はハイフンで閉じる－副題－>
 第 3 行 氏名（所属）<行の中央に置く＝センタリング>
 第 4 行 空白
 第 5 行 本文
- ↓
- 第 32 行

- 2) 題目が 2 行以上にわたる場合や副題がつく場合は、第 2 行以下を繰り下げる。
 その場合、印字範囲の枠をはみ出さないよう本文の行を削る。

3. 設定

用紙のサイズ	A4	上端マージン	30 ミリ
紙の置き方	縦書き	下段マージン	30 ミリ
1 行文字数	35 文字	左端マージン	30 ミリ
1 ページ行数	32 行	右端マージン	30 ミリ
文字方向	横書き	ページ番号	付けない
フォント	MS 明朝 (題目は MS ゴシック)	フォントサイズ	12 ポイント

見本：用紙は A4 判（外枠を A4 判用紙と見立て下さい。）

